

## 災害廃棄物（漁具・漁網）の試験搬入に係る放射能濃度等調査結果

### 1. 被災地における調査

災害廃棄物を金沢市に試験搬入するにあたり、搬出元である岩手県宮古市の災害廃棄物二次仮置場（藤原埠頭）における「漁具・漁網」の放射能濃度や保管場所周辺の空間線量率等を測定した。

#### （1）調査日

平成24年10月26日（金）～11月5日（月）

#### （2）調査場所

宮古地区（藤原埠頭）二次仮置場（岩手県宮古市）

#### （3）調査内容

- ① 災害廃棄物の放射性セシウム（134、137）濃度
- ② 災害廃棄物の遮蔽線量率
- ③ 災害廃棄物周辺の空間線量率
- ④ 搬出するコンテナ周辺の空間線量率
- ⑤ 災害廃棄物の有害物質濃度

#### （4）調査方法

- ① 災害廃棄物の放射性セシウム（134、137）濃度
  - ・山積みされた災害廃棄物のうち、均一に分散するよう10箇所から採取。
  - ・混合、均一化した試料をゲルマニウム半導体検出器で測定。
- ② 災害廃棄物の遮蔽線量率
  - ・山積みされた災害廃棄物のうち、均一に分散するよう10箇所から採取。
  - ・混合、均一化した試料を、鉛等でできた遮蔽体内に入れ、NaIシンチレーションサーベイメータに接触させて測定。
  - ・バックグラウンドは遮蔽体内に廃棄物を入れない状態で測定。
- ③ 災害廃棄物周辺の空間線量率
  - ・山積みされた災害廃棄物の下端から地面に沿って1m、地上1mで、NaIシンチレーションサーベイメータで測定。
  - ・バックグラウンドは廃棄物の影響を受けない十分に離れた場所で測定。
- ④ 搬出するコンテナ周辺の空間線量率
  - ・災害廃棄物をコンテナに積込んだ後に、コンテナの左右側面の2面の中心で、コンテナから1m離れて、NaIシンチレーションサーベイメータで測定。
  - ・バックグラウンドは廃棄物の影響を受けない十分に離れた場所で測定。
- ⑤ 災害廃棄物の有害物質濃度
  - ・産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法（昭和48年環境庁告示第13号）に基づき測定。

(5) 調査結果

① 災害廃棄物の放射性セシウム（134、137）濃度

試料採取日：平成24年11月2日

【単位：ベクレル/k g】

試料		セシウム134	セシウム137	放射性セシウム合計
漁具・漁網	①	不検出	不検出	不検出
	②	不検出	不検出	不検出
	③	不検出	不検出	不検出

※不検出は検出下限値未満

\*受入れ基準：100ベクレル/k g以下

② 災害廃棄物の遮蔽線量率

測定日：平成24年11月5日

【単位：マイクロシーベルト/時】

試料		遮蔽線量率	バックグラウンド	バックグラウンド補正值
漁具・漁網	①	0.035	0.034	0.001
	②	0.035		0.001
	③	0.034		0

③ 災害廃棄物周辺の空間線量率

測定日：平成24年11月5日

【単位：マイクロシーベルト/時】

項目	最高値	最低値	バックグラウンド
漁具・漁網 保管場所	0.05	0.03	0.06

④ 搬出するコンテナ周辺の空間線量率

測定日：平成24年11月6日

【単位：マイクロシーベルト/時】

項目	最高値	最低値	バックグラウンド
コンテナ横	0.06	0.05	0.07

⑤ 災害廃棄物の有害物質濃度

試料採取日：平成24年10月26日

【単位：mg/L】

項目	①	②	基準
水銀及びその化合物	<0.0005	<0.0005	≤0.005
カドミウム及びその化合物	<0.001	<0.001	≤0.3
鉛及びその化合物	0.016	<0.002	≤0.3
六価クロム化合物	<0.02	<0.02	≤1.5
ひ素及びその化合物	<0.002	0.003	≤0.3
シアン化合物	<0.01	<0.01	≤1
P C B	<0.0005	<0.0005	≤0.003
セレン及びその化合物	<0.002	<0.002	≤0.3

※基準とは、昭和55年総府令48「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」で定める埋立処分に係る判定基準をいう。

## 2. 金沢市における調査

災害廃棄物の試験搬入において、搬入された災害廃棄物の放射能濃度やコンテナ、埋立場周辺の空間線量率等を測定した。

### (1) 調査日

平成 24 年 11 月 10 日 (土)

### (2) 調査場所

J R 貨物ターミナル駅 (金沢市高柳町)

戸室新保埋立場及び戸室リサイクルプラザ (金沢市戸室新保)

### (3) 調査内容

- ① 災害廃棄物の放射性セシウム (134、137) 濃度
- ② コンテナ周辺の空間線量率
- ③ 災害廃棄物の空間線量率
- ④ 埋立場周辺の空間線量率

### (4) 調査方法

- ① 災害廃棄物の放射性セシウム (134、137) 濃度
  - ・試料①は、戸室リサイクルプラザにおいて、フレコンバッグ 1 袋を開封し、均一に分散させ、12箇所から採取。
  - ・試料②は、戸室新保埋立場内において、フレコンバッグ 6 袋の上部から、均一に採取。
  - ・混合、均一化した試料をゲルマニウム半導体検出器で測定。
- ② コンテナ周辺の空間線量率
  - ・J R 貨物ターミナル駅において、災害廃棄物が積み込まれたコンテナの左右側面の 2 面の中心で、コンテナから 1 m 離れて、NaIシンチレーションサーベイメータで測定。
  - ・バックグラウンドは搬入前に同一の場所で測定。
- ③ 災害廃棄物の空間線量率
  - ・フレコンバッグ 1 袋を開封後、廃棄物から 1 cm の空間線量を NaIシンチレーションサーベイメータで測定。
- ④ 埋立場及びその周辺の空間線量率
  - ・地面から地上 1 m で、NaIシンチレーションサーベイメータで測定。
  - ・バックグラウンドは搬入前に同一の場所で測定。

(5) 調査結果

① 災害廃棄物の放射性セシウム（134、137）濃度

【単位：ベクレル/k g】

試料		セシウム134	セシウム137	放射性セシウム合計
漁具・漁網	①	不検出	7.8	7.8
	②	不検出	6.0	6.0

※不検出は検出下限値未満

\*受入れ基準：100ベクレル/k g以下

② コンテナ周辺の空間線量率

測定場所：JR貨物ターミナル駅 【単位：マイクロシーベルト/時】

測定箇所	最高値	最低値	バックグラウンド
コンテナ横1 m	0.07	0.05	0.07

③ 災害廃棄物の空間線量率

測定場所：戸室リサイクルプラザ 【単位：マイクロシーベルト/時】

項目	最高値	最低値	バックグラウンド
漁具・漁網	0.08	0.06	0.07

④ 埋立場及びその周辺の空間線量率

測定場所：埋立場周辺 【単位：マイクロシーベルト/時】

測定箇所	コンテナ通過時	埋立後	バックグラウンド
清水町入口	0.06	0.07	0.07
戸室スポーツ広場	—	0.06	0.07
戸室新保埋立場料金所	0.09	0.09	0.09
埋立後災害廃棄物上部	—	0.07	0.07

\* 金沢市内65箇所の空間線量率は、0.05～0.08マイクロシーベルト/時  
(平成24年9月測定)